

パーソナルファイナンス学会

JAPF News No.37 2017. 3.22

第17回全国大会を振り返って

大会委員長 飯田隆雄（札幌大学）

2016年11月12日13日の2日間、桜美林大学町田キャンパスで開催された第17回全国大会は、統一論題を「これからのパーソナルファイナンス研究」として、シンポジウム「改正から10年を経た貸金業法を検証する」パネリスト（衆議院議員）平将明氏、上田勇氏を核に、統一論題3本、15周年記念プロジェクト研究発表10本、自由論題5本、合計18本の発表があった。77名の参加者と有意義で活発な議論が交わされ、盛会のうちに終了した。

以下内容を紹介する。

シンポジウムでは改正貸金業法に纏わる、法律制定以前の議論や経緯から法律施行後の今日まで、業界や消費者及び社会の動きなどを、法律制定にかかわった当事者から率直な意見を伺う機会を得た。これらはニュースなどで知り得る以外の新しい事実や発見があり、法律や運用面でのさらなる改良点の必要性など、この分野の将来的課題が明示され、大いに議論が盛り上がった。

統一論題では①「パーソナルファイナンスの国際展開の展望」（富山大学）岸本寿生氏、②「会見検査から見た個人情報の保護と利用」（会計検査院検査官）小林麻理氏、③「これからの金融教育について」（金融広報中央委員会）岡崎竜子氏の報告があり、今日的なパーソナルファイナンス分野で抱える問題や研究課題について、切り口の提示や解決策への示唆など、有意義な内容であり、こちらも大いに議論が盛り上がった。

15周年プロジェクト研究発表【制度設計】では

①『総量規制の基準』、『多重債務者の定義』等について、政府が合理的説明を行ったのか？ ②関連法制における経済合理性が存在するのか？【金融教育】では①高大連携の金融教育システム構築を行動経済学的視点で考察、②中等教育における金融教育の体系化への取り組み、③学校教科書における金融の扱い方、【グローバル化】では東南アジアにおける消費者金融ビジネスモデルの分析、【イノベーション】では①P2P Lendingの普及阻害要因の研究、②ビッグデータの活用方法の事例研究、③マイクロファイナンスを利用した地域おこしの方法、④小売業のアジア進出と並行的に実施する金融サービス事業の有効性、など興味深い研究テーマが目白押しで報告によって議論も深まり、研究書になるのが待ち遠しかった。

最後に自由論題であるが、①シェアリング・エコノミーに見るビジネス・エコシステムの視点からUber、Esty、Lyft、Airbnbの分析、②中国の『民間貸借』、新形態ソーシャルレンディング（P2P）、③障害者の創業、④中山間地域での担い手育成、⑤小規模ワイナリーの六次産業化の資金調達など、大変興味深い研究が報告された。



（報告会場）

今回の全国大会は、日本の重要課題である地域創生問題は、パーソナルファイナンスの果たす役割がきわめて大きく、日本政府が地域創生に向け

た創造的事業提案を行った自治体へ積極的に交付金を支給するとしているが、どうも、それだけ



では限界があるように思われる。同様の政府施策を利用して建設された自治体経営の温泉場やバイオマス汚水処理場など、多くの失敗例が存在する。税金の投入も有り難いことではあるが、民間主導となれば、地域に根差した現実的で持続可能な事業が創造される可能性が大きいと思われる。現在のパーソナルファイナンスは、多様なスキームが開発されつつあり、こうしたスキームを提案することも地方創生には欠かせない事柄である。ここにも本学会の重要な社会的役割が存在すると思われる。

最後に、ゲスト出席いただいた先生方はじめ多くの参加者の皆様、全国大会の準備段階から大会終了まで、プログラム案の作成、大会当日の運営などで、多大な尽力をいただき大会を成功へと導いてくださった桑名義晴会長兼大会実行委員長（桜美林大学）、ならびに会場でお手伝いいただいた桜美林大学関係者やスタッフの皆様に、心より感謝申し上げます。

2016 年度「研究奨励賞」受賞作発表！

昨年度より創設された「研究奨励賞」は、これまでの応募に加えて、Web ジャーナルに掲載された論文が自動エントリーされることになり、2016

年度は、以下の作品が受賞しました。第 17 回全国大会会員総会では、表彰式が行われ、桑名義晴会長より記念の盾が授与されました。

「中国個人金融における異業種参入がもたらすイノベーションの進展 —インターネットを活用した金融サービスの多様化—

李 立栄（早稲田大学大学院） 著

（『パーソナルファイナンス研究』No.2, pp.67-85）

受賞のことは

李 立栄（早稲田大学大学院）

このたび当学会の研究奨励賞を頂戴し大変光栄に存じます。この数年間、中国の金融について研究を続けてきましたが、まだまだ研究すべきことが多いと感じている今日この頃です。浅学非才なわたくしがこのような立派な賞を頂いても良いのか、心許ないかぎりですが、評価していただきましたことを素直に喜びたいと思います。同時に、奨励賞は決してゴールではなく、研究生活の一里塚と心得て、さらに前進したいと決意を新たにしているところです。

当学会におきましては、早稲田大学大学院商学研究科の坂野友昭先生、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科の山岡道男先生、札幌大学の飯田隆雄先生をはじめ、多くの先生方にご指導いただいております。また、日本総合研究所の藤田哲雄先生からは有益な助言と激励を頂きました。今回の受賞も、先生方のご指導やご支援の賜物であると心より感謝申し上げます。

今後も学術研究を一層深めることに努め、当学会にも精一杯貢献させて頂きたいと思っております。まだまだ未熟ですが、今後とも皆様方から引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本当にありがとうございました。



李立栄氏（左）と桑名会長

学会賞・研究奨励賞候補作募集

◎学会賞（単行本）

*対象文献:2016年7月～2017年6月末日までに公刊されたもの

◎研究奨励賞（論文）

*年齢制限でなく、アカデミックなキャリアが浅いという意味で若手研究者を奨励するためのアワードです。

*Web ジャーナルに掲載された査読付き論文は自動エントリーされます。

*対象文献:2016年7月～2017年6月末日までに公刊されたもの。

応募・推薦締切：2017年7月24日（月）

お問合せ：リエゾンオフィス japf@ibi-japan.co.jp

第18回全国大会開催校決定！

開催校：富山大学（岸本寿生実行委員長）

会期・会場：

2017年11月11日（土）富山国際会議場

11月12日（日）富山大学経済学部

*統一論題は、決まり次第、Web サイトにて発表いたします。

【自由論題募集期間】

2017年8月1日（火）～21日（月）

【応募方法】

*報告要旨をA4サイズ4枚以内にまとめて、応募票とあわせて、リエゾンオフィスまでメールにてご応募ください。

い。

*応募票は7月下旬よりWebサイトよりダウンロードできます。

【応募先】リエゾンオフィス japf@ibi-japan.co.jp

新役員紹介

去る2016年11月12日に開催された第17回全国大会会員総会にて役員改選が行われ、翌日開催の第4回理事会にて新会長が選出されました。第17期～第21期改選日までの新役員をご紹介します。

任期2016年11月12日～2020年改選日

会長	桑名義晴（桜美林大学）
副会長	大東和武司（広島市立大学） 坂野友昭（早稲田大学） 杉江雅彦（同志社大学名誉教授）
常任理事	飯田隆雄（札幌大学） 伊東眞一（大阪商業大学） 今井雅和（専修大学） 岸本寿生（富山大学） 竹本拓治（福井大学） 高井 透（日本大学） 土井一生（九州産業大学） 堂下 浩（東京情報大学） 春井久志（関西学院大学） 晝間文彦（早稲田大学）
理事	井上葉子（日本大学） 井澤裕司（立命館大学） 江夏健一（早稲田大学名誉教授） 大谷和海（関西大学・中高等部） 岡村 誠（学習院大学） 片山隆男（大阪商業大学） 齋藤泰浩（桜美林大学） 佐伯隆博（東北大学） 佐藤幸志（拓殖大学） 武長脩行（椋山女学園大学名誉教授） 竹之内秀行（上智大学）



理事	竹之内玲子（山梨大学） 田中幸弘（新潟大学） 樋口大輔（東京情報大学） 藤田哲雄（日本総合研究所） 藤原七重（千葉商科大学） 前田真一郎（名城大学） 山本崇雄（神奈川大学） 吉元利行（オリエント総合研究所）
監事	今井利絵（ハリウッド大学院大学） 酒井一郎（酒井キャリア教育研究所） 藤江俊彦（千葉商科大学）
幹事	金崎賢希（青森公立大学） 清水さゆり（高崎経済大学） 長島芳枝（大東文化大学）
顧問	安井信夫（中央大学名誉教授）

（敬称略・五十音順）

**Web ジャーナル「パーソナルファイナンス研究」
No.1-2 J-Stage 4月公開**

広く研究成果を知っていただくため、2014-2015 発行の No.1-2 は、国立情報学研究所電子図書館からいデータ移行される4月にJ-Stageにて公開予定です。No.3につきましては、6月に公開を予定しています。

* J-Stage は国内の研究成果を世界に向けて発信しています。

* 国内外の主要なサイトと相互リンクしており、内外の研究者・閲覧者からアクセス・利用されています。また、引用文献リンクにより、掲載の論文が引用している論文情報も閲覧できます。そのため参考文献に誤りがあるとリンクができなくなるため、正確な記載が求められています。

**Web ジャーナル『パーソナルファイナンス研究』
No.4 投稿募集！**

応募締切：2017年5月15日（月）

執筆要項（抜粋）

1. 原稿は日本語または英語とする。日本語原稿はA4判使用、20,000字以内、英語原稿はA4判使用、7,500ワー

ド以内の分量を基準とする。いずれもタイトル、要旨、本文、謝辞、注、参考文献、図表等を含んだ分量である。

2. 原稿はWord形式で保存しメールの添付ファイルで1部、ハードコピーで1部提出する。

* 執筆要項は改訂されておりますので、必ずご確認ください。

【提出先】リエゾンオフィス japf@ibi-japan.co.jp

新会員紹介 2016.11.14～2017.3.17

久田祥子 東海大学政治経済学部経営学科

田中美里 アコム株式会社審査第1部（弁護士）

個人会員数：164名、賛助会員3社

お願い

登録情報の更新について

当学会では、学会活動の活性化と学術的交流を目的として、「会則・会員名簿」を役員改選時に作成しております。つきましては、昨年の全国大会時に役員改選が行われたことから、会員の皆様へ登録情報確認のお願いを送付させていただきます。「会員・会則名簿」は、5月発行を予定しており、同封の「名簿掲載用会員情報調査票」をご確認の上、ご変更や修正などございましたら、4月10日（月）までにご連絡くださいますようお願いいたします。

* JAPF News は記事中すべて敬称略としております。

JAPF News 第37号
発行日：2017.3.22
発行：パーソナルファイナンス学会
監修：国際交流・広報委員長
山本崇雄（神奈川大学）
編集：リエゾンオフィス
【業務委託】(株)国際ビジネス研究センター
〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 518
司ビル 3F ☎ 03-5273-0473